

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

平成 28 年 12 月 2 日発行

No. 9

開校70周年記念式典が行われる ~時を越えて集い、つながる学び舎~

11月11日に開校70周年記念式典ならびに祝賀会が開催されました。私たち教職員は昨年から構想を練り、協賛会を発足して準備を進めてまいりました。PTA厚生委員会では文化祭バザーでの70周年記念メニューを企画してくださり、PTAやふじづる会が中心となり、式典、祝賀会の受付に向けた打合せをもつなどして準備を進めてきました。生徒たちは、記念品となる藍染のコースターに添えるメッセージを書き、式典中の生徒発表「つなぐ」に向けた準備を進める中で、本校が開校して70年という節目を迎えることについての想いが日に日に高まっていきました。

式典当日、遠くはアメリカ、道内外からも多くの同窓生が本校にいらっしゃいました。前号で紹介しましたハスラー・満華様もご都合をつけられてご臨席くださったことも嬉しいことでした。また、大学、札幌市教育委員会や北区の中学校校長先生の皆様にも多くご臨席いただきました。

厳かな雰囲気の中、様々な方が本校の開校へのご祝辞を述べられ、本校のPTAやふじづる会の活動にご貢献いただいた方々への表彰が行われました。大学の蛇穴学長様は、記念品に添えた本校生徒のメッセージの内容を取り上げ、生徒が附属で仲間とともに学ぶ価値について書いていたことについて、学校というものの在り方を象徴するものであると話されていました。

生徒発表「つなぐ」では、第2期生の河口 知商様から、私たち、そして未来の附中生に向けてのメッセージを述べていただく場面がありました。河口様は、校歌にうたわれている「アカシア」について、河口様が附中生であった当時の校舎中庭にアカシアが植えられていて風にそよいでいたことや、校歌の詩を当時の国語の先生がつくられたことなどをお話しされました。皆が抱いていた謎

がとけるとともに、生徒は、校歌に込められた先人の想いを感じていました。附中や附中生の様子では、今とずいぶん異なる点、変わらぬ点などに惹きつけられながら、改めてこの学校の歴史や伝統の重みに浸るとともに、未来へのバトンを託された思いを抱いたことでしょう。表題にあるように、まさにこの学校に関わり尊く思う皆様が、時や世代を越えて集い、つながった瞬間でした。その思いを胸に抱き、全身で表現した生徒の合唱は、この会場にいらした方々の心に届いたことと思います。



【同窓会会長 矢吹徹雄様からのご祝辞の場面】

その後開催された祝賀会にもたいへん多くの方がご参会されました。同窓生の皆様、旧教職員の皆様、PTAOB会（ふじの輪会）の皆様、合わせて240名あまりの方が一堂に集い、まるで中学生時代にタイムスリップしたかのようにあちらこちらで話に花が咲き、盛会裡の中で終わることができました。準備からPTAの皆様をはじめとして、ふじの輪会の皆様、同窓生の皆様、大学、札幌市教育委員会、学校関係者など多くの方の支えやご協力があったことに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



【70周年記念式典、生徒発表「つなぐ」の様子】

ブルーム討論会を終えて

第3学年総合的な学習の時間
ブルーム担当 小路 美和

第3学年の総合的な学習の時間「ブルーム討論会」が先日行われました。多くの保護者の皆様にご参会いただき、大変貴重なご意見をいただいたことに改めてお礼を申し上げます。

第3学年のブルームでは、地域や社会における諸問題や理想とする社会から一人一人が目的を設定し、専門家の方にインタビューを行うなどの調査活動を通して、自分なりの結論を導き出してきました。また、ブルームを進めるにあたり、北海道教育大学の戸田弘二先生に1年間を通してご指導いただき、「研究」のあり方を学んできました。「研究の設計図」に沿って研究を進めていくことで、将来にわたって活用することができる論理的な思考や技能を学ぶことができました。

ブルーム討論会では、今までの研究から導き出した結論を小学生や1、2年生、社会人である保護者の皆様に発表し、討論することを通して、自分の研究を見つめ直し、研究を深める貴重な学びの場となりました。また、参会いただいた方にとっても、3年間の生徒の成長を感じるとともに、生徒と共に社会の問題を考える「共に学び合う場」と感じていただけたら大変有り難く思います。



【ブルーム討論会の様子】

ブルーム討論会でいただいた、参会者の皆様アンケートをご紹介します。

【ご参会いただいた方から】

- ・「研究の設計図」問題意識から始まり目的、目標・・・結論と、設計図を作成していくこと自体が素晴らしい取り組みであると感じました。今後の人生において、何か問題に向き合うにあたり、自分で考え整理していくのにも、かなり有効であり役立っていくのではないかと思います。
- ・生徒のみなさんがテーマに対して、取材や文献で調べながら深く考え、自分なりに結論づけているのがすごいと思いました。また、今後の課題に気づき、これからの生活に活かしていこうとする姿を目の当たりにして、とても頼もしく感じました。

・社会の諸問題に対して、その問題に真剣に向き合っている大人がいるということに気づいてもらった事、そのことに気がついた中学生がいる事。それがとても大切だと感じます。私たち大人がその大切なことに気づかされた場となり、本当に良い学びの場となりました。

これから社会人となっていく生徒たちには、解決していかなければいけない問題や課題にぶつかることが多くあります。そのような場面で、ブルームで身に付けた力を活用し、社会に参画しながら未来を創り上げる一員として活躍してくれることを心から期待しています。

総合的な学習の時間(3rd Stage『働くこと』)を終えて

第2学年総合的な学習の時間 担当 柏 敬太

「人はなぜ働くのか。働くとはどういうことだろうか」

多くの人は、人生の半分以上の期間、社会人として働きます。しかし、その一方で、働くことへの意味が見いだせなかったり、すぐに仕事を辞めてしまったりする若者が増えています。「働くこと」と真正面から向かい合い、自分なりの「働くこと」に対する意味を見つけ、これからの人生を歩んでいってほしい。そのような願いを込めて、職業体験学習を中心とした、総合的な学習の時間を行ってまいりました。

生徒たちは、最初のオリエンテーションでは、働くこととは、「お金をかせぐため」「自分の好きなことを行うこと」といった一つの面を重視した見方が多いようでした。しかし、その後、身近な方々へのインタビュー活動、丸一日の職業体験学習、そして保護者の方との「働くこと」を語る会などを通して、彼らの考えは変わっていきました。特に



【テレビ局で職業体験をする生徒の様子】

職業体験学習では、生徒たちは様々な職種から合計 29 の訪問先に行き、実際に仕事をすることやインタビューを通して、「働くこと」には様々な理由があること、社会とのつながりの中で生きるということ、実際にはとても大変だということなど、新たな視点に気付く姿がありました。

そして、11月23日、勤労感謝の日、自分たちにとって最も身近な社会人である保護者の方々と「働くこと」について語る会を開催いたしました。当日は70名近くの保護者の方々に参加していただき、「働くこと」と「学ぶこと」のつながり、働くことの厳しさと素晴らしさを保護者の方々自身のご経験から聞くことができ、生徒たちにとって大変有意義な機会となりました。

これらの総合的な学習の時間を終え、生徒たちは現段階での自分の考えとして「人はなぜ働くのか、働くとはどういうことだろうか」という問いに対して、改めて答えました。いくつか紹介させていただきます。

- 働くとは、「社会に貢献する」ということだと思います。最初はお金を稼ぐことだと思っていました。しかし、語る会を終えて、「子どものこと社会にお世話になったので、その恩返しをする」という保護者の考えが心に残りました。
- 働くとは、自分が他の誰か、自分自身に貢献し、社会の一部を支える一つの方法だ。
- 働くとは、社会の一員として社会に貢献し、人生を通して学ぶことだと思います。

この総合的な学習の時間「トランク」の学びを通して、生徒たちは自分一人だけ、あるいは学校の中だけでは得ることのできない経験をすることができました。各ご家庭や今回お世話になった訪問先の方々などのご協力があったからこそ、深まった学びであると考えています。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。あとがとうございました。



【「働くこと」を語る会の様子】

救命救急講習を実施しました

11月末に2年生各学級が、保健の授業として救命救急講習を実施しました。札幌市北消防署・あいの里出張所の消防士、消防団の方を講師としてお招きし、内容は、「心臓や呼吸が停止している人に対し、どのように救命処置を行ったらよいか」という課題を解決するものでした。生徒は、倒れている人の意識の有無の判断や、周りの人に声をかけて協力を仰ぎつつ、自ら胸骨圧迫と人工呼吸を行う方法、AEDの使い方について学んでいました。実際、そのような場面に遭遇した時に「自分は気が動転せずに落ち着いてできるだろうか」、「今のような状況ではないとき、どう対処したらよいだろうか」など考え、疑問点を消防署員の方に積極的に質問し、真剣なまなざしで講習に臨んでいました。

この講習を受講したことで、生徒は救命講習の修了証を受け取っています。修了書をいただいたことで、生徒は、命を救える一人の担い手としての自覚と責任をもつ機会になったことと思います。



【胸骨圧迫の後、実際にAEDを使用する場面】

ご協力をお願いいたします

行事予定にもありますが、12月10日（土）、11日（日）と平成29年度本校入学者選考（本校入試）が行われます。多くの面で本校生徒及び保護者の皆様にご協力をいただくこととなりますが、特に2年生の生徒の皆さんにつきましては、本校入試が円滑に進むように係生徒としてお手伝いをお願いすることとなります。

なお、入試日が荒天で延期の場合、入試日程の変更に伴い、一部12月の予定を変更することがあります。その際は、一斉メールや文書等でお知らせいたします。また、12月10日（土）から13日（火）までの期間、本校教職員は入試業務に専念させていただきますので、他の業務の対応ができませんことをご理解いただくとともに、緊急の場合以外の本校への電話連絡及び来校を差し控えていただきますようお願い、ご協力をお願いいたします。

12月

□今年一年を締めくくる月になりました。お子様が一年を振り返って自己評価をしつつ、来年に向けて新たな目標を立てる、そのような意味をもつ節目の月となるような助言をお願いいたします。

日（曜日）	行事等の予定	最終下校時刻
1（木）	3年生進路懇談① 幼児ふれあい体験（3A）	1、3年生 16：30 2年生 17：10
2（金）	幼児ふれあい体験（3B） 全校道徳講演会 昼清掃 放）全校集会	16：50
3（土）		
4（日）		
5（月）	3年生進路懇談②	1、2年生 16：50 3年生 16：00
6（火）	3年生進路懇談③ 幼児ふれあい体験（3C）	1、2年生 16：50 3年生 16：00
7（水）	3年生進路懇談④	1、2年生 16：50 3年生 16：00
8（木）		16：50
9（金）	2年生入試準備（午後） 3時間授業	1、3年生 13：10 2年生 15：25
10（土）	本校入試1日目	
11（日）	本校入試2日目	
12（月）	入試に関する休業日	
13（火）	入試に関する休業日	
14（水）	研究日24	16：05
15（木）	学年スポーツレク（3年） QU検査（1，2年）	16：50
16（金）		16：50
17（土）		
18（日）		
19（月）		16：50
20（火）	職員会議14	15：05
21（水）	校内研究授業 研究日25	16：05
22（木）	冬季休業前集会 3年生後期期末テスト範囲発表	16：20
23（金）	天皇誕生日 冬季休業（～1/12）	
24（土）		
25（日）		
26（月）		
29日（木）～1月3日（火）の間、教職員は出勤しておりません。 また、12月と冬休み中の部活動はありません。		
1月13日（金）	授業開始集会 3年生後期期末テスト1日目	16：50